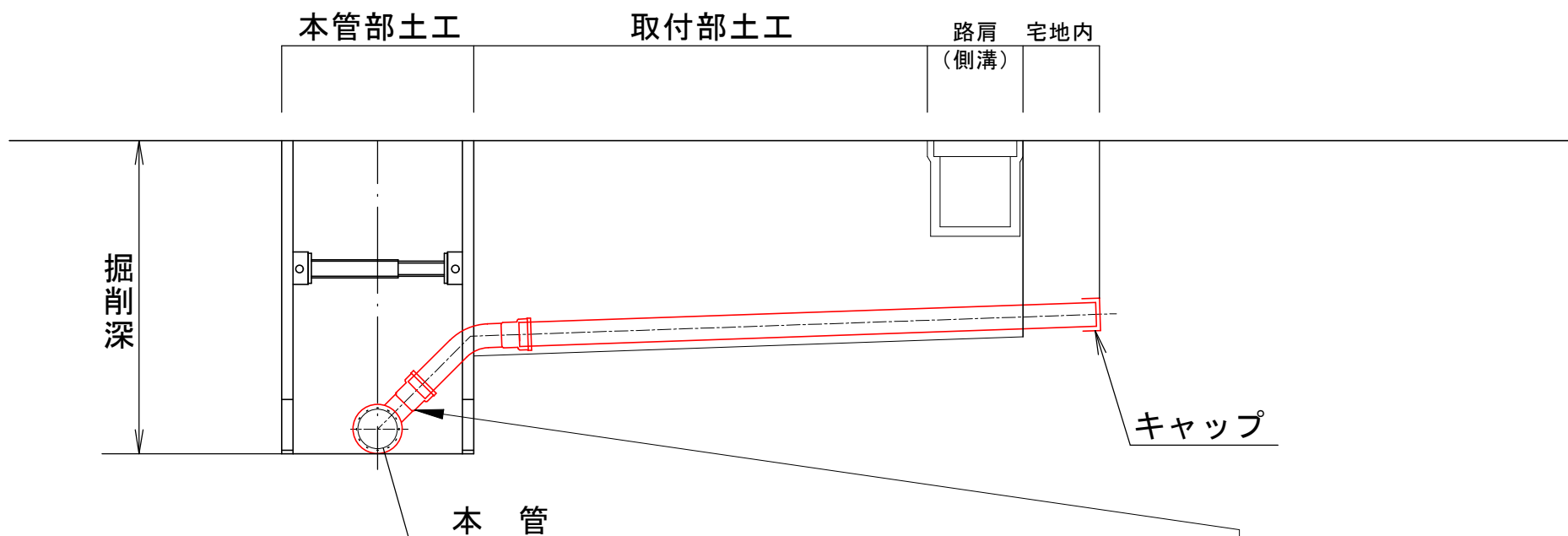


取付管新設工事標準断面図

取付管新設工事標準図



※掘削深により、上削孔立上がり等工法は、各種あります。

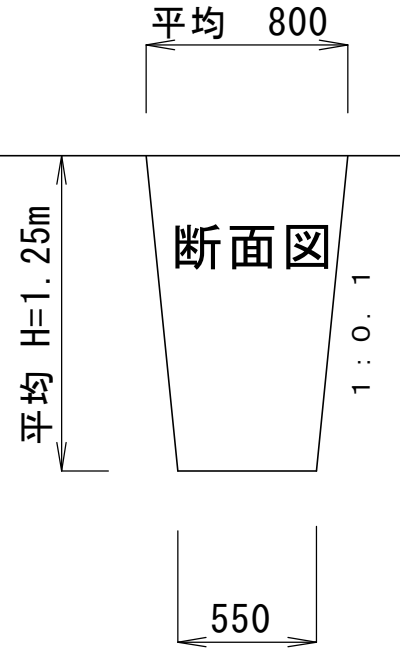
本管掘削深

H = 3.0m以上
(簡易建込・軽量鋼矢板)

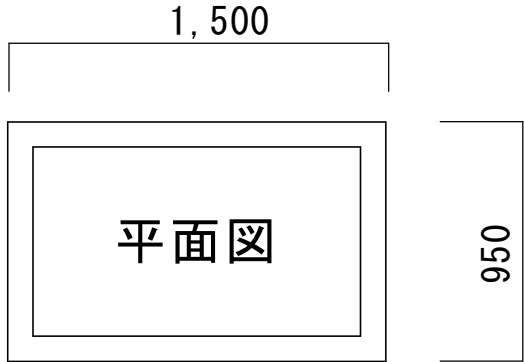
H = 1.5m ~ 3.0m未満
(軽量鋼矢板)

矢板設置標準図

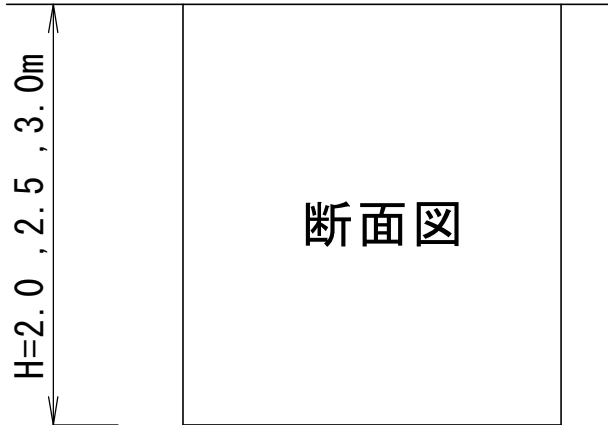
H = 1.5 m 未満 (矢板無し)



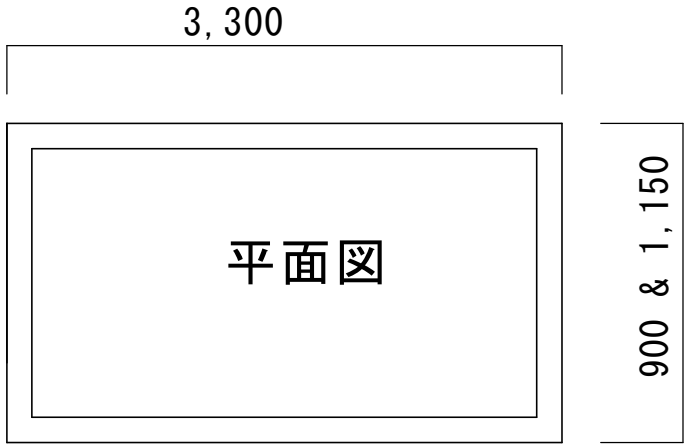
H = 1.5 m 以上 ~ 3.0 m 未満
(軽量鋼矢板)



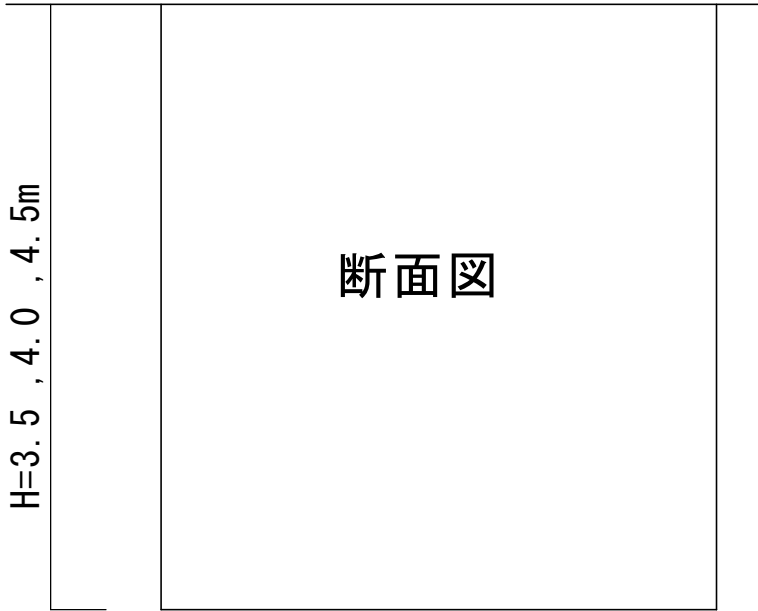
軽量鋼矢板



H = 3.0 m 以上
(建込簡易土留・軽量鋼矢板)



建込簡易土留 軽量鋼矢板



市道（一般道）

幅員 4 m 以下（4 m 道路）

影響幅	掘削幅	影響幅

再生密粒アスコン	40
粒調碎石M30	70

プライムコート・タックコートは、本復旧時のみ。

幅員 4 m 以上 6 m まで（6 m 道路）

影響幅	掘削幅	影響幅

再生密粒アスコン	50
粒調碎石M30	150

プライムコート・タックコートは、本復旧時のみ。

幅員 6 m 以上（車道 2 車線）

影響幅	掘削幅	影響幅

再生密粒アスコン	50
粒調碎石M30 （2層仕上げ）	200

プライムコート・タックコートは、本復旧時のみ。

市道（幹線道）

幅員 12 m 以上又は都市計画街路

影響幅	掘削幅	影響幅

再生密粒アスコン	50
再生粗粒アスコン	100
粒調碎石M30 （2層仕上げ）	200

プライムコート・タックコートは、本復旧時のみ。

県道（主要地方道）

影響幅	掘削幅	影響幅

再生密粒アスコン	50
再生粗粒アスコン	50
再生ストアス安定処理	100
粒調碎石M30	100

プライムコート・タックコートは、本復旧時のみ。

県道（一般道）

影響幅	掘削幅	影響幅

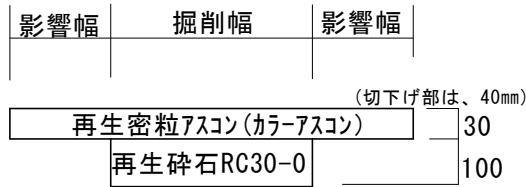
再生密粒アスコン	50
再生粗粒アスコン	50
粒調碎石M30	100

プライムコート・タックコートは、本復旧時のみ。

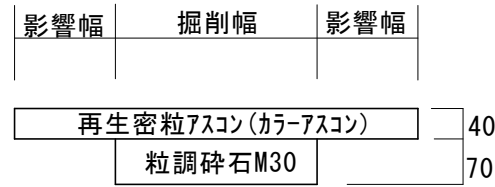
- ※歩道本復旧の影響部については、ダイヤ型とはせずに30cmの影響幅をとること。
- ※県道の本復旧については、影響部がダイヤ型ではなく影響幅が市道と異なるため監督員と協議すること。
- ※舗装が新しい工事箇所（舗装改良工事後概ね3年以内）の本復旧については、監督員と協議すること。
- ※仮復旧については、車道は表層厚5cm（4m道路は表層厚4cm）、歩道については表層厚3cmを標準とする。
- ※県道の水路（側溝）横断等については、監督員と協議すること。
- ※仮復旧は、プライムコート・タックコート無し、本復旧は、プライムコート・タックコート有り。

土工定規標準断面図

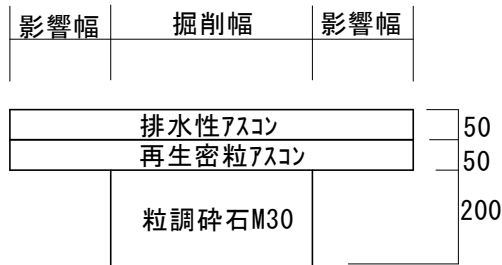
市道（歩道）



県道（歩道）



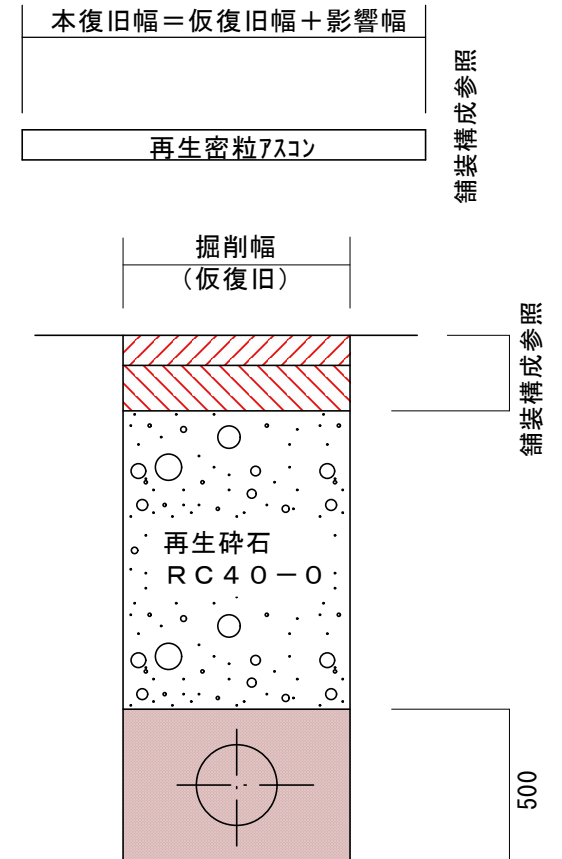
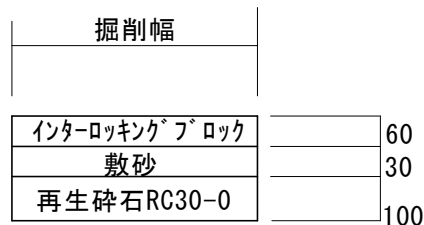
排水性舗装（車道）



透水性舗装（歩道）



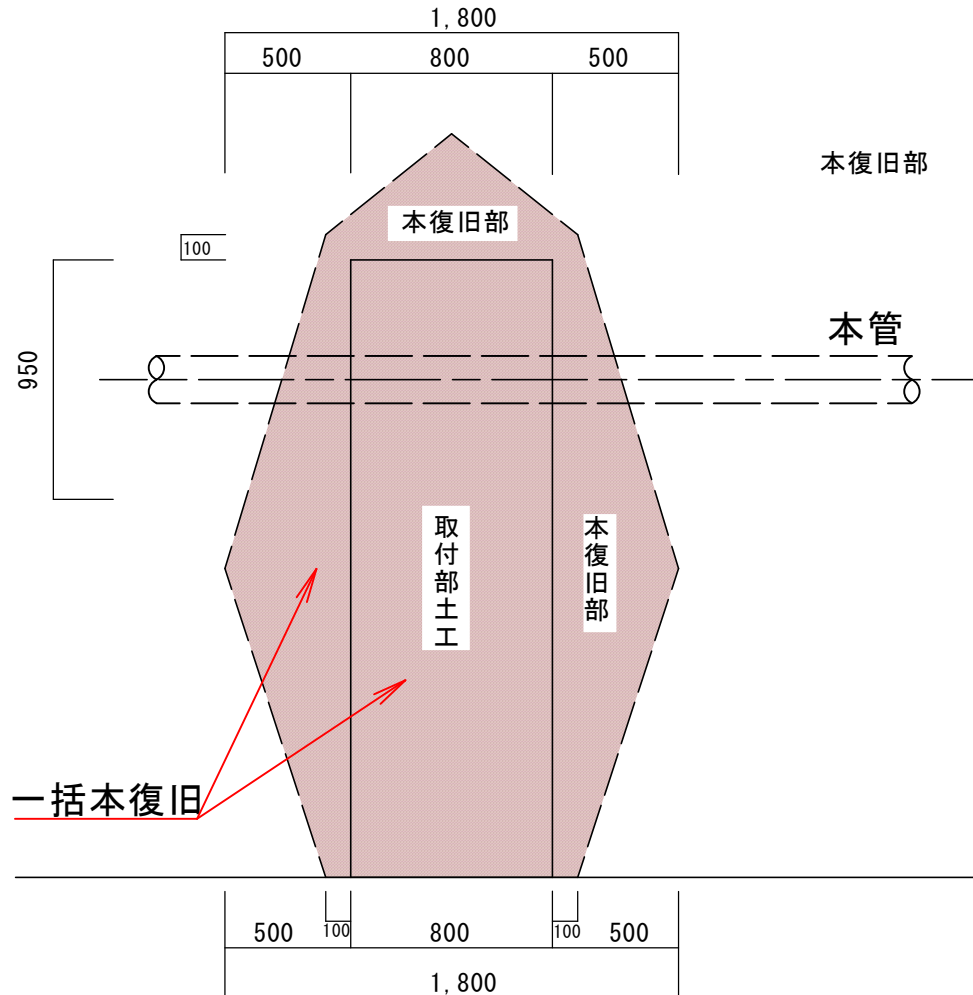
インターロッキング（歩道）



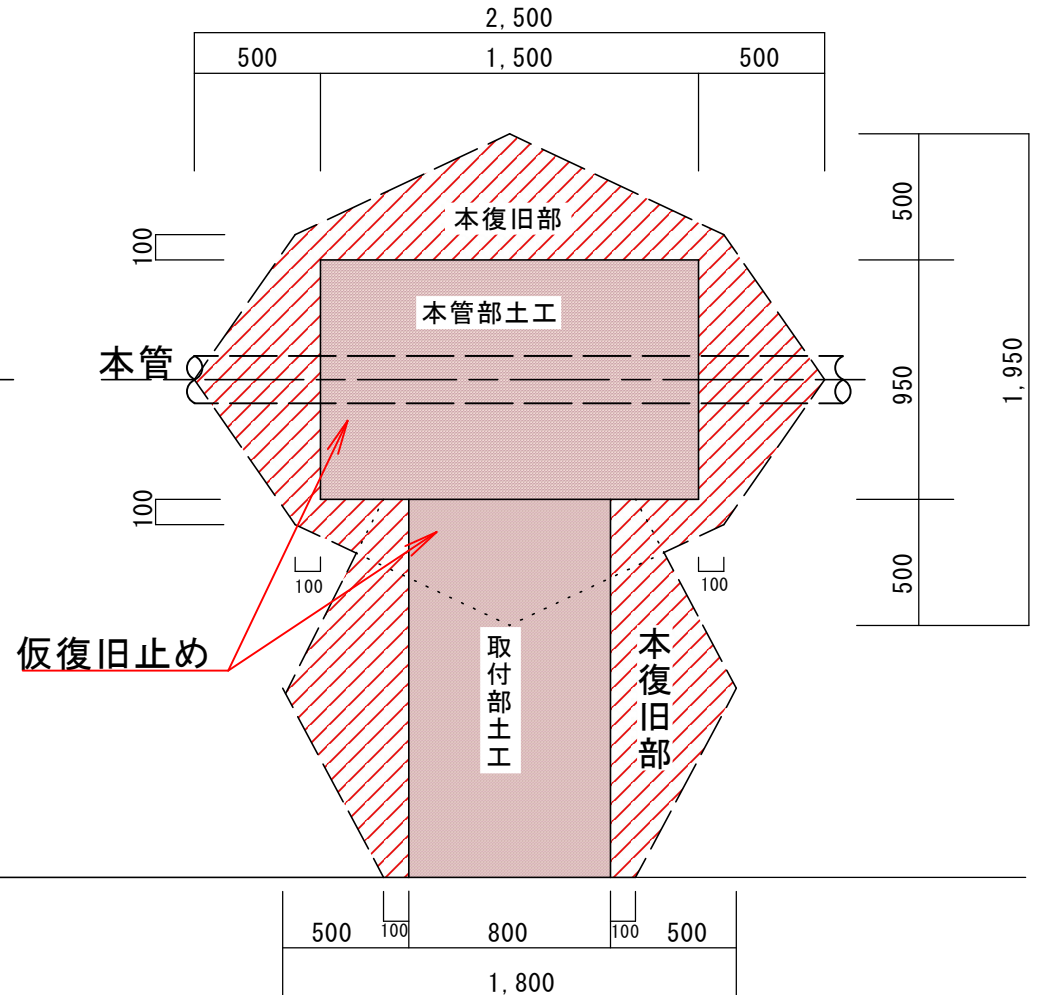
※歩道本復旧の影響部については、ダイヤ型とはせずに30cmの影響幅をとること。
 ※県道の本復旧については、影響部がダイヤ型ではなく影響幅が市道と異なるため監督員と協議すること。
 ※舗装が新しい工事箇所（舗装改良工事後概ね3年以内）の本復旧については、監督員と協議すること。
 ※仮復旧については、車道は表層厚5cm（4m道路は表層厚4cm）、歩道については表層厚3cmを標準とする。
 ※県道の水路（側溝）横断等については、監督員と協議すること。

掘削及び舗装復旧平面図（車道部）

H = 1.5m未満



H = 1.5m以上 ~ 3.0m未満



※ 取付管設置時：一括本復旧

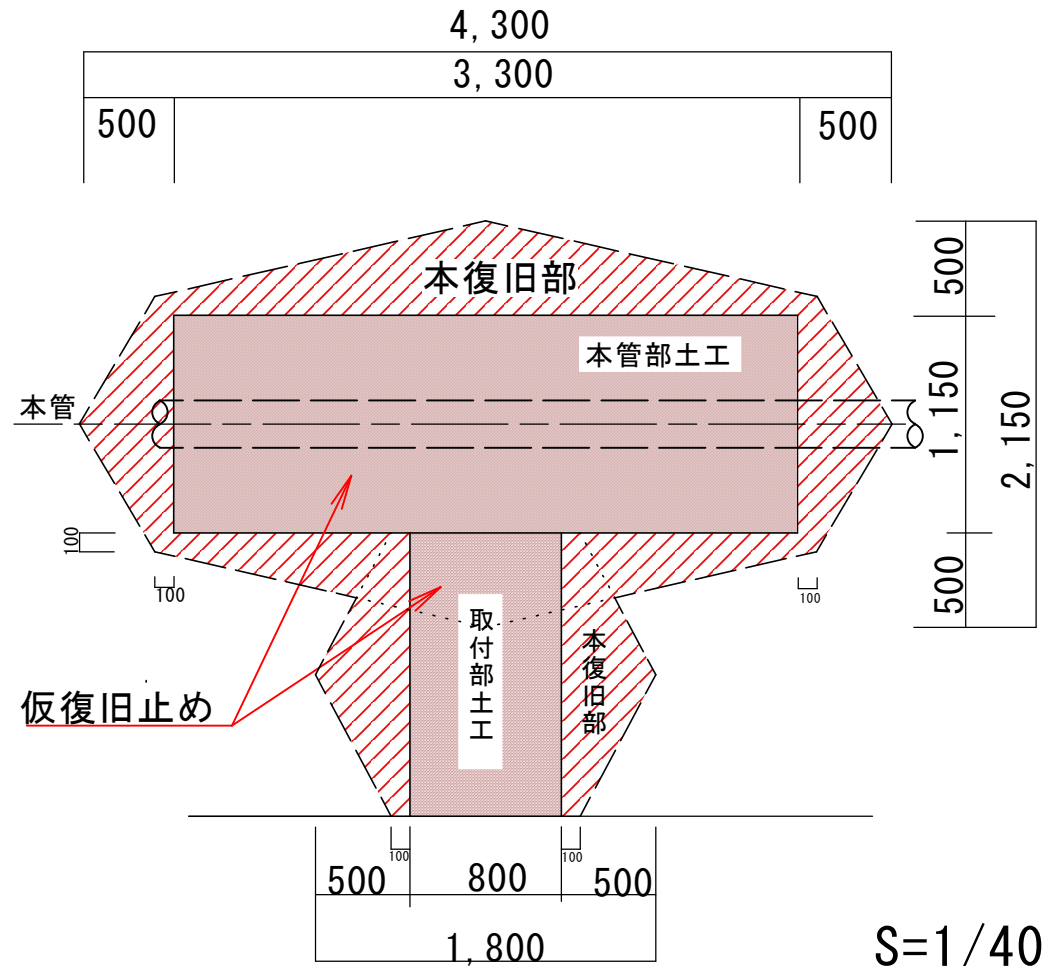
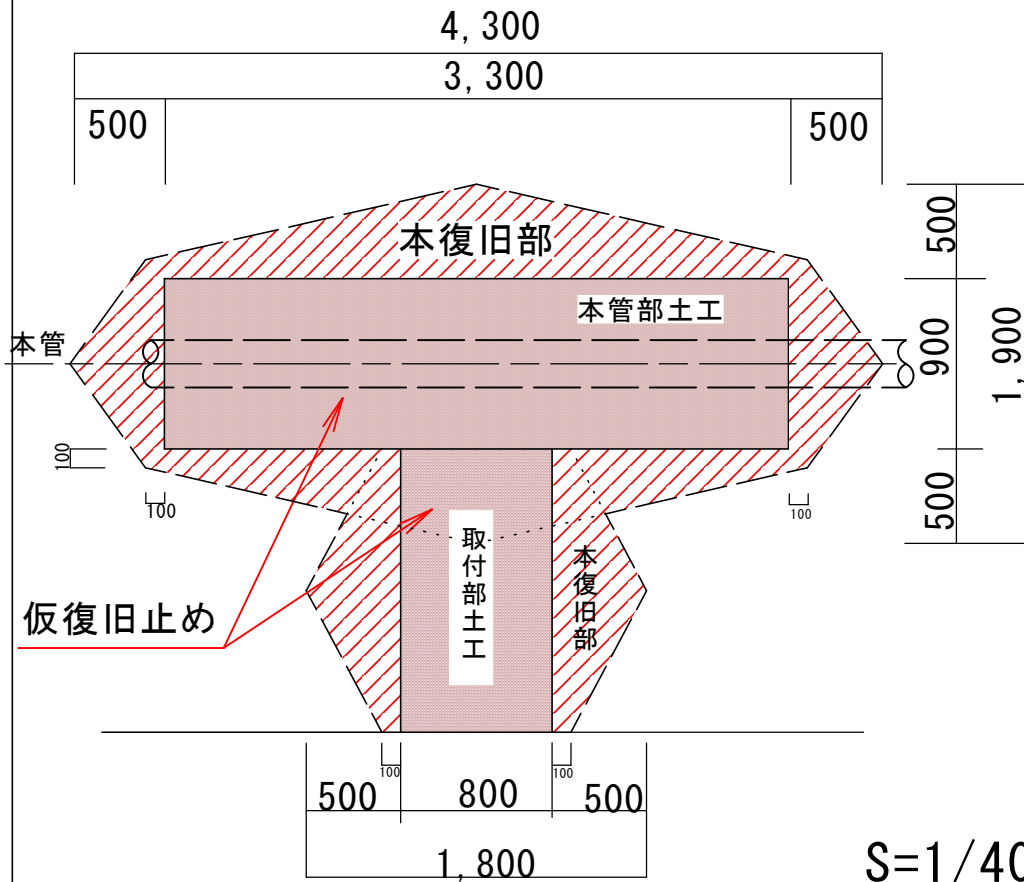
※ 取付管設置時：仮復旧
仮復旧経過後：本復旧

S=1/30

掘削及び舗装復旧平面図 (車道部)

H = 3. 5 m以上 ~ 4. 0 m未満
 H = 4. 0 m以上

H = 3. 0 m以上 ~ 3. 5 m未満

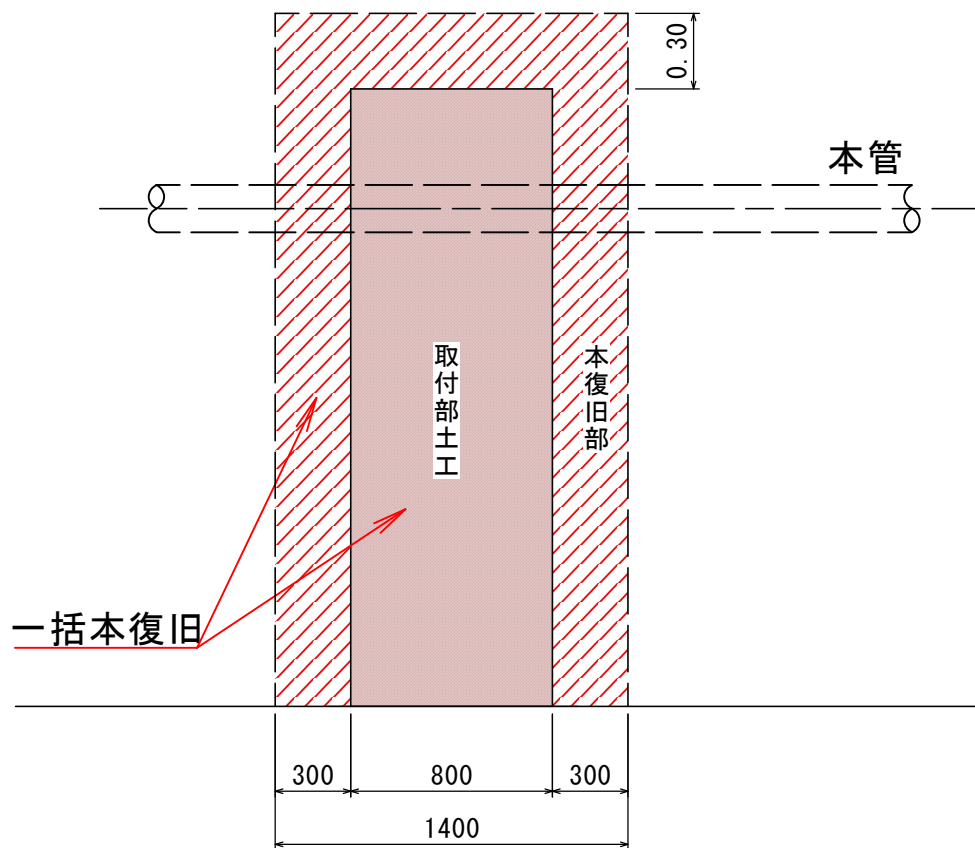


※ 取付管設置時 : 仮復旧
 仮復旧経過後 : 本復旧

※ 取付管設置時 : 仮復旧
 仮復旧経過後 : 本復旧

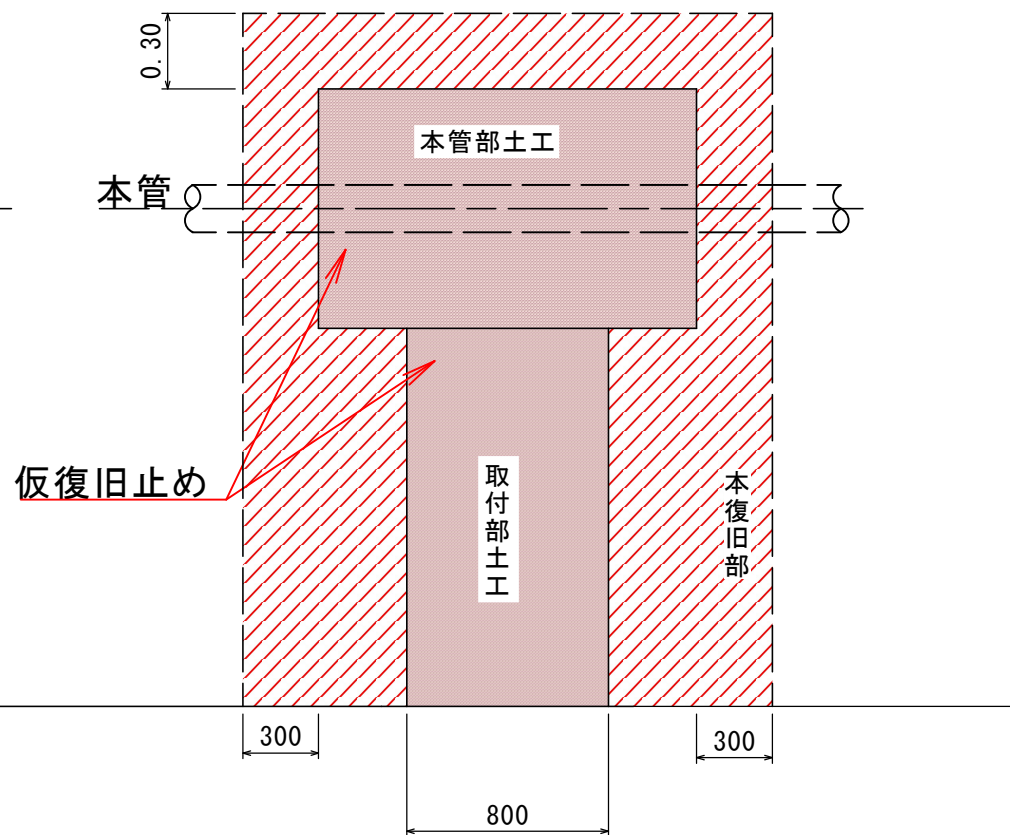
掘削及び舗装復旧平面図（歩道部）

H = 1.5m未満
(I型の場合)



※ 取付管設置時：一括本復旧

H = 1.5m～
(T型の場合)



※ 取付管設置時：仮復旧
仮復旧経過後：本復旧

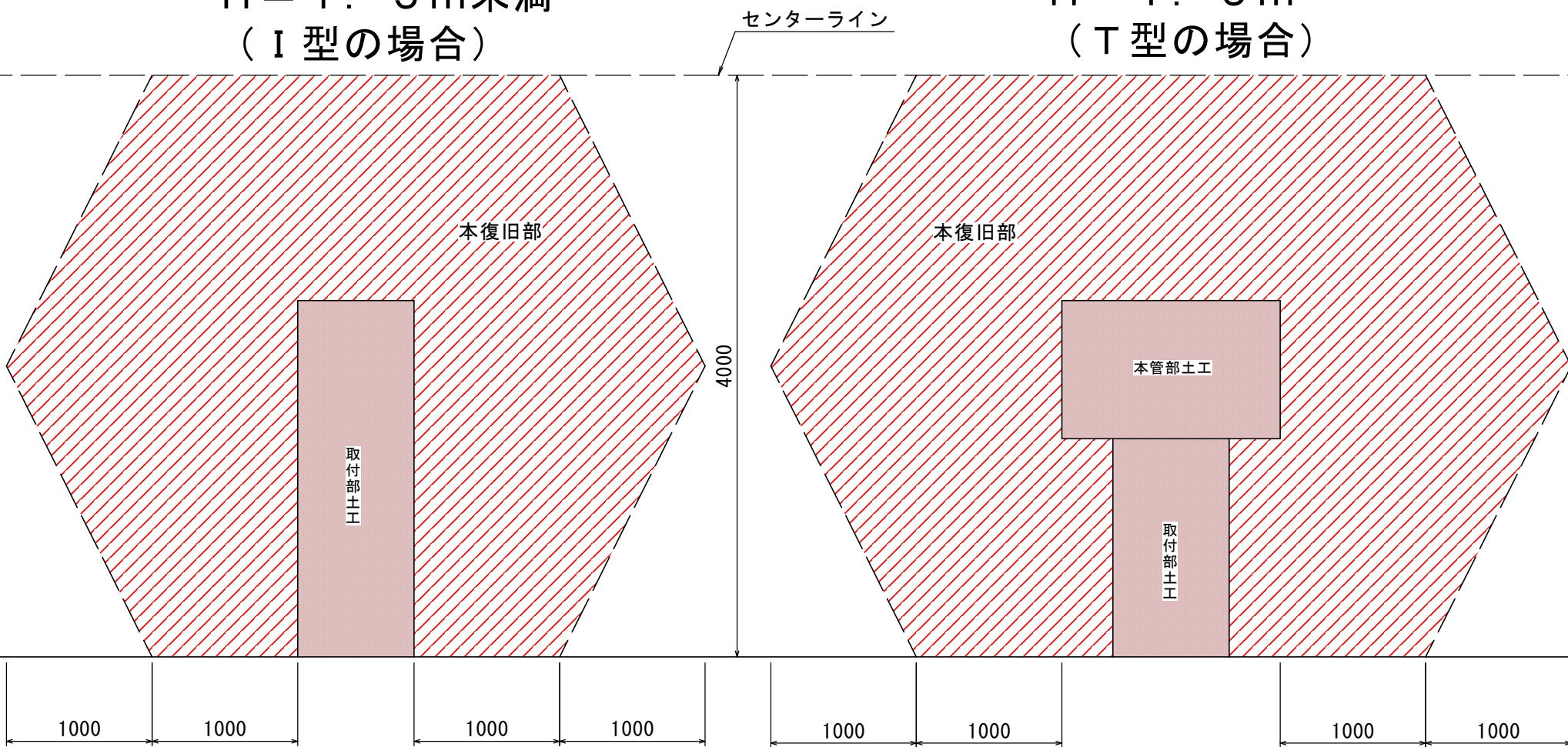
S=1/30

アスファルト舗装施工後、3年以内の復旧舗装基準

No. 8

H = 1.5m未満
(I型の場合)

H = 1.5m~
(T型の場合)



S=1/40

- ・掘削幅より1m加え、尚かつダイヤモンドカット舗装で1m加えて、施工する。
- ・センターラインがある場合、センターラインを超えない掘削の場合はセンターまで、越えた場合は、幅員全部施工する。
- ・センターラインがない場合、道路幅員を1/2以下の掘削の場合はセンターまで、1/2以上の場合は幅員全部施工する。